

学校だより

令和3年12月号
毎月1日発行
名古屋市立山田高等学校

日増しに寒さが厳しくなる時節となりましたが、保護者の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

1・2年生は、コース科目登録も完了し、そろそろ進路を真剣に見据えた生活を送りはじめる時期です。ご家庭の団らんの中などで少し時間をつくっていただき、学校のことや進路のこと、将来のことなどを話し合っただけだと幸いです。

そして、3年生。12月は受験生にとって最後の追い込みの時期です。年が明ければ、昨年度から始まった、大学入学共通テストを皮切りに大学の一般入試が実施されます。今は試験の結果をうけて悲喜こもごもの3年生ですが、年明けの試験に備えて気持ちを切り替え、準備を進めてほしいと思います。

《総務部より》

11月10日(水)～12日(金)に2年生が修学旅行に行ってまいりました。計画通りの行程の中、大きなアクシデントもなく実施することができました。参加した生徒たちからも「楽しかった」という声を多く聞くことができ、学校行事の大切さを改めて実感いたしました。

修学旅行を含め、学校行事の様子は学校公式Webサイト「山高NEWS」の中でご覧いただくことができます。行事が終わった後にできる限り早めに掲載しております。お時間がある時に、ぜひご覧ください。

《教務部より》

11月29日(月)より2学期期末考査を実施しています。3年生にとっては最後の定期考査となります。最終日まで全力で取り組んでほしいと考えています。体調管理を含め、ご家庭でもお声がけいただきますようお願いいたします。

また12月20日(月)、21日(火)、22日(水)の日程で保護者会を予定しております。進路や成績についてお話しする良い機会になりますので、ご多忙とは存じますが、ご予約ください。

《進路指導部より》

今回は、3年生が今、挑んでいる2022年度入試のポイントについて紹介したいと思います。

◆国公立大入試の主なポイント

国公立大では近年、多様な入学者を確保するために総合型・学校推薦型選抜拡大の動きが続いており、2022年度入試では500人ほど増加しています。総合型・学校推薦型選抜で拡大が続く一方、一般選抜の後期日程は廃止・縮小が続きます。国公立大入試全体で見ると、依然として一般選抜の募集人員は全体の8割近くを占めており、一般選抜がメイン入試である状況は変わりありません。

コロナ禍で社会が不安定な中、学費が安い国公立大は一定の人気を保ちそうです。少子化により大学志願者数は減少しますから、国公立大でも競争率は下がるでしょう。2021年度の入試が競争緩和していたことから、難関大志向が強まっています。

学部系統の人気を見ると、文理とも、就職を意識した系統選びが鮮明です。

文系では法学系は人気が出ています。公務員への就職イメージが強く、民間企業への就職の際にも法律という専門分野を武器にできそうなことが背景にありそうです。

理系では理、工、農が人気です。工学系では通信・情報分野が人気です。ほかには農学系の獣医、医療系の医、薬など、資格に直結する学部系統の人気が高まっています。

◆私立大入試の主なポイント

受験人口が減少していく中、私立大では入学定員増の動きが続いています。2022年度の入学定員は、新設大学の入学定員、学部新設に伴う増員分を加えると、最大約3,000人の増加となります。2021年度の私立大入試ではすでに入学者数が約1万人減少し、定員割れの大学が増加しています。志願者数は今後も減少していく見込みですので、私立大入試ではますます競争緩和が進むでしょう。

2022年度入試では、私立大全体の約4割の大学が英語資格・検定試験を活用していますが、前年からの増加幅は緩やかです。ただし、既に一部で英語資格・検定試験を活用していた大学が活用の幅を広げるといった動きは活発です。コロナ対応については、コロナ禍の支援策として受験料無料化や入試のオンライン化などの動きがみられます。

2021年度入試では地元志向が顕著でした。来春も早慶などの難関大は別として、地元と同程度の大学があれば地元の大学を志望するという志向は続きそうです。学部系統で人気が高まっているのは情報、医、薬、法学系などです。全体では文低理高となっており、就職や職業を意識した系統が人気です。

最後に、今月も受験生に勇気の出る名言を一つ紹介します。

自分に打ち勝つことは、勝利のうちで最大のものである。 (プラトン ギリシアの哲学者)

《生徒指導部より》

12月から4月まではブレザー着用期間となります。登下校時に必ずブレザーを着用することになっていますので、ブレザーを着用して登下校するよう、お声かけをお願いいたします。また、防寒着はブレザーを着た上に華美でないものを着用するようお願いいたします。

11月は、初めて遅刻をする生徒が目立つようになってきました。寒さが増すとともに遅刻をする生徒が増えてきます。通院によるものや体調不良等やむを得ない理由が多いですが、寝坊や忘れ物、電車の乗り遅れ・乗り過ごしといったものもあります。寒くなってきましたので、しっかり体調管理をし、余裕をもって家を出てほしいと思います。

なお、冬休みに入りますと、夜更かし等で生活リズムが乱れてしまう生徒も少なくありません。スマホ(SNS)の使い方に関して、親子で話し合いの機会を持ってください。元気よく3学期を過ごすためにも規則正しい生活を送るよう、促していただきたいと思います。

《生徒会部より》

後期生徒会の活動が始まり、2ヵ月ほどが経ちました。先月には、「なごやINGキャンペーン」(I:いじめの N:ない G:学校づくり)のポスターを全校生徒で作成しました。このキャンペーンは名古屋市立の全小中高等学校で実施しております。いじめをしないという行動宣言や、いじめをなくすために自分ができることは何か、困っている友人にどのような声をかけるかを各自が付箋へと書き込み、ポスターへ貼るかたちで作成しました。12月中に、作成したポスターを山田地域会館、山田図書館、西文化小劇場に持参し、掲示をお願いする予定です。足を運ぶ機会がありましたら、是非ご覧ください。

また、生徒会の活動として、今年度のまとめとなる機関紙「やまだ」の編集や、3月に行われるY-sports2022の企画作りに励んでいます。12月17日に行われるリモート授業では、生徒会アンケートを実施する予定です。山田高校を自分たちの力でより良くしたいという建設的な意見が多く出されることを期待しています。